

東京デザイン専門学校 学校関係者評価報告書

(平成30年度)

実施日 平成30年12月4日・11日

※平成30年度学校自己評価（基準日：平成30年3月1日）
をもとに評価実施

学校法人原宿学園
東京デザイン専門学校

平成30年度 学校関係者評価報告書について

学校法人原宿学園東京デザイン専門学校は、すべての教育活動・学校運營業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るために平成15年度より学校自己評価を実施しています。また、平成21年度には、本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。平成25年度からは学校自己評価及び学校関係者評価を毎年実施しています。その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、在学生保護者・卒業生・デザイン関連業界団体の皆様やデザイン・教育等に見識をお持ちの方々に平成30年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 31年 1 月

学校法人原宿学園

東京デザイン専門学校

学校長・学校評価委員会委員長

今村 昭秀

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関のご指導をふまえ、在学生保護者、卒業生、デザイン関連業界団体・企業、学識経験者等10名の方々に評価委員をお願いいたしました。（詳細は次頁をご覧ください）

【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準 Ver. 4（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前にお示しし、平成30年12月4日（火）在学生保護者委員に、同月11日（火）デザイン関連業界団体・企業等委員にご参集いただきました。

施設・設備や授業などをご見学いただいた後、平成30年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。平成30年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。また、平成28年3月に職業実践専門課程に設置全9学科が認定されたこともふまえ、学校評価事業は毎年度、継続していきます。

※本校は特定非営利団体私立専門学校等評価研究機構の会員です。

東京デザイン専門学校 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【在学生保護者】

グラフィックデザイン科 2年生保護者

筒井 ルミ子

イラストレーション科 1年生保護者

竹内 奈緒子

マンガ科 1年生保護者

遠藤 節子

インテリアデザイン科 2年生保護者

今井 京子

ファッションアクセサリー科 1年生保護者

山寄 美穂

【関連業界団体・企業】

公益社団法人日本広告制作協会 理事長

梶原 鉄也

一般社団法人日本空間デザイン協会 会長

鈴木 恵千代

株式会社ZUBON 代表取締役CEO

熊田 正史

【卒業生】

本校グラフィックデザイン科卒業

東京デザイン専門学校校友会 会長

特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会事務局長

アルファルファ アートディレクター

相澤 竹夫

【学識経験者】

商店街振興組合原宿表参道櫓会 副理事長

松本 ルキ

学校関係者評価者が所属する団体の詳細は公式サイトをご参照ください

公益社団法人日本広告制作協会 <http://www.oac.or.jp>

一般社団法人日本空間デザイン協会 <http://www.dsa.or.jp>

特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会 <http://www.typography.or.jp>

商店街振興組合原宿表参道櫓会 <http://www.omotesando.or.jp>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-1】理念・目的・育成人材像

この項目は【保護者】【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

- デザイナーの育成を全面に発信している学校だと感じている。
- ファッションアクセサリ科では素材の扱い方など専門的なことを学んでおり、物を作ることに對しての教育レベルの高さを感じている。
- 広告デザインは取り扱う範囲が幅広くなってきている。即戦力はスキルを必要とされるが、仕事をしながら学ぶこともできるので物事の考え方が大切になる。
- ディレクターを目指すなら相手の目的を理解することが大切であり、説明能力や対話をしながら相手の意図を的確に理解する能力、人間力が必要とされる。
- 職種が多様化し、この約10年間でスキルを持たないデザイナーが多くなっている。スキルを持っていても仕事がもらえるとは限らないため、デザインだけでは仕事ができなくなっている。地域に密着したデザイナーなど、変化に對応していかなければならない。
- 漫画業界では卒業してすぐにデビューできることはない。何年もかけて出版社に作品を持ち込み続け、担当者とのコミュニケーションを重ねていくことが重要となる。
- アーティストなどの「芸術職」、デザイナーなどの「技術職」、クリエイターなどの「総合専門職」と職種は様々あり、デザイナーとして学んだことが生かされていくことでクリエイターへと成長していく。即戦力が必要なときもあるが成長を見守ってあげられる環境があると良い。
- コミュニケーション力、人間力は大切。入社当初はあまり際立たなかった人もコミュニケーション力を持っていることで大きな成長を見せることがある。

基準 2 学校運営

点検項目【2-2】運営方針

点検項目【2-3】事業計画

点検項目【2-4】運営組織

点検項目【2-5】人事・給与制度

点検項目【2-6】意思決定システム

点検項目【2-7】情報システム

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準3 教育活動

点検項目【3-8】目標の設定

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

□広告デザイン業界は二極化してきており、従来の広告デザインよりもゲームやエンターテインメントに関心が高い傾向にある。デザイナーのスペシャリストも最近流行のAIの進化に戦々恐々としている。AIはある程度の雛形があればコピーしてデザインできるが、手作業で地道に築き上げることも大切だと感じており、AIが発達していくと将来どのようになるか不安に感じている。例えば、車の撮影の多くはCGで制作されるようになり実写は少なくなっている。照明などの専門職人も加わり映像を作っているがリアルな空間を知っているからできることであり、リアルな空間を知らない世代になったとき職人のスキルがどのように継承されていくのか不安に感じている。

□空間デザイン業界は更にニーズが高まってくると感じている。日本は消費者のニーズがそれほど高くないが、西洋は消費者が空間デザインに求めるニーズが高いため相乗効果でレベルが高められている。この数年、日本でも空間デザインの価値が高められており、デザインのレベルを上げて消費者に刺激を与えることでニーズも高まり、更に社会的な発信力も高まっていき問題解決につながっている。空間デザイン業界はデザイナーが消費者ニーズをしっかりと把握することで売り上げも伸びていくと思われる。

点検項目【3-9】教育方法・評価等

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

□パースを描くのに手でスケッチする時と、iPadにCGで描く時がある。どちらも同じと思っていたが、本校のデッサンの授業を見学して先生が線1本の描き方を繰り返し指導している姿を見て基本の積み重ねが大切だと感じた。

□マンガは紙媒体からデジタルへと移行し、マンガ出版社は減少している。一方、賑わっている電子書籍の多くを海外資本の企業が占めており、莫大な資金を投資している。また、マンガだけでは利益が薄いため、パチンコなどのキャラクタービジネスも展開している。技術的な問題として、アジア系企業のスマホ画面の操作は縦スクロールだが、日本はマンガ本として出版しやすいようにコマで制作している。縦スクロールをマンガ本化するのは困難なため出版社は対応していない。教育の場だからこそ新しいことにチャレンジできると思うので期待したい。

点検項目【3-10】成績評価・単位認定等

点検項目【3-11】資格・免許の取得の指導体制

点検項目【3-12】教員・教員組織

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準4 学修成果

点検項目【4-13】就職率

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

空間業界のクリエイティブ分野での新卒採用は大卒か大学院卒が多く専門卒はあまりいない。デザイン分野・設計分野では専門卒も視野に入れて採用している企業もあると思われる。当社のクリエイティブ分野での選考は主にインターネットでのエントリーシートによる性格診断や言語推理のテストと学校で制作した作品のプレゼンテーションなどで行い、特にプレゼンテーションの考え方を重視している。

当社ではあまり新卒を採用していない。リーマンショックや東日本大震災の時期に採用を控えてしまったため特定世代が手薄になっている。企業・業界の成長を考えるとコンスタントに採用していくべきだと感じている。

世情に関わらず毎年採用しており、近年は新卒を多く採用する傾向にある。面接官の立場では、理論がしっかりしていることや話の筋が通っていることに重点を置いて採用している。説明が理論的でなくてもデザインが良いこともあり、採用するか迷うことがある。

新卒の採用はほとんどなく、必要な時にニーズに合った人材を知り合いから紹介してもらっている。採用担当者が興味を持った学生に直接接触することもあるようだ。

点検項目【4-14】資格・免許の取得率

点検項目【4-15】卒業生の社会的評価

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準5 学生支援

点検項目【5-16】就職等進路

この項目は【保護者】【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

- 8月に2社のインターンシップに参加した。活動開始時期が遅いように感じたが先月内定をもらった。受けた企業数は少なかったが自分の希望した企業に決まったようだ。
- 本来大学に進学したかったため進学を考えているようだ。学校で紹介された建築事務所でアルバイトをしている。就職するか進学するかは本人に任せている。
- 保護者会でマンガ科の就職について相談したところ、企業に就職して毎日一定時間働き、その後に自分の制作活動時間を確保できる提携をする企業があると聞いた。就職後に学費を返済するため安心した。
- 子供は先生方に相談しているようだが、保護者に向けても就職関連の情報提供があるとありがたい。
- 保護者に就活の活動開始のタイミングを教えてほしい。親も焦ることなく子供に余計なプレッシャーをかけずにすむ。

学校からの回答 > 全学科で実施しているキャリアデザインでは、1年次（3年制学科は2年次）3期に就職部見学、就活エントリーシート・履歴書の書き方などを指導し就職活動への気持ちの切り換えを促している。

- 学科によって就職活動のスケジュールや内容が異なると思うので、学科毎にあると分かりやすい。成績表は必ず見るので同封していると良いと思う。
 - 1年次から2年次に進級する際のコース選択でとても悩んでいた。詳しく聞きたい。
- 学校からの回答 > 専攻のある学科では、1年次3期に2年次で選択する各専攻の授業を一通り受けてから希望を出している。専攻は就職に影響してくるので悩む学生が多いが、同じ専攻を選択した友人とともに学び楽しむことも大切であると考えている。
- 採用する側としては、採用選考は企業カラーとのマッチングであるため、不採用だからといって落胆する必要はないことを学生に伝えてほしい。

点検項目【5-17】中途退学への対応

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

- うつ病などメンタルケアを必要としている人の約6割は専門医で治療して会社に復帰している。学校と企業とではメンタルケアの性質が違うと思うが、企業はクライアント間でのトラブルや上司との関係が起因している場合が多い。
- 社会的な規制が厳しくなり逃げ場がなくなってしまったため、殻に閉じこもり弱くなってしまったのではないか。ネジを締めすぎず、少しの遊びをもつことが気持ちのゆとりとなるので大切ではないか。
- メンタルの弱い人の増加に対し、パワハラ・セクハラの手紙も多くなった。かつては軽視されていたことが問題として取り上げられるようになり状況は厳しくなっている。
- 精神的な問題は入学前の成長の過程でのことが大きく影響していると思われるため、本校の在学期間で克服するのは難しい。克服するのではなく、良い所に焦点をあてて伸ばしてあげることができたら良いのではないか。

学校からの回答 > 学校ではクラスの友人とのトラブルや学業不振など入学後に発生する問題もあるが、近年は入学前から問題を抱えているケースも出ている。個別性のある難しい問題だが、今後も一人ひとりの学生に寄り添い対応していきたい。

点検項目【5-18】学生相談

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【5-19】学生生活

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

- 入学後、想定していたよりも教材費がかかったため、卒業制作の制作費のためにTDAスカラシップに申請した。
- 入学当初は画材専門店などで購入していたため教材費がかかったが、100円ショップやホームセンターなど安く購入できる店を探し工夫するようになった。
- 社会に出て行くために必要となるコミュニケーション力や勉強以外の大切なことも伝えてほしい。

□現役で活躍している先生方に教わっていることで世界観が広がり、様々なことを吸収していく中で探究心が芽生えているように思う。現役で活躍している先生に教わっていることを本人も実感しているので、悩み事があると先生に相談にのってもらえるようだ。

□専門学校では好きなことに集中してほしい。社会に出ると締め切りなどの制約でできないこともあると思う。大切な2年間だと思うので温かく見守ってもらいたい。

点検項目【5-20】保護者との連携

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

□漫画家は漫画を描きながらアルバイトをするものだと思い込んでいたため、保護者会に出席したことで就職して働きながら漫画を描けることを知ることができた。

□日本学生支援機構の奨学金手続きについて、高校の予約採用で受けた説明と入学後に受けた説明とが違っているように感じた。高校の時はすべて親が手続きしていたが、本校入学後に本来は子供が行うべきと知り混乱した。

学校からの回答 >入学前に手紙を郵送しており、予約採用の申請をした学生は入学式前に説明会を実施している。

□先生と子供のコミュニケーションがよく取れていると思う。学園祭や保護者会で先生方と話をし、様々な角度で子供を見てくれていることが伝わってきた。

点検項目【5-21】卒業生・社会人

この項目は【保護者】【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

□社会に出て挫折した時のサポート体制があると聞いた。会社を辞めたことを親に言わない子供もいるため、学校に相談に来るようなことがあれば連絡をもらえるとありがたい。

学校からの回答 >本校は卒業後も再就職のサポートをしている。親に知られたくない人もいるため家庭への連絡は難しい場合もあるが、卒業生からの相談にも親身に対応しているので安心してほしい。

□本校の同窓会組織である校友会では、キャリアアップのための講演会の開催などサポート体制を整えていく動きがある。

□副会長を務めている母校の同窓会組織では、卒業生にも図書館の書籍貸出をしたり、文化祭や総会の後には同窓会パーティーを開催するなどしている。また、数年前には会費からなる運営費の一部で在学生の奨学金制度を創設し、卒業式で表彰もしている。

□漫画家は卒業してから担当が付くまで3～4年、担当が付いてからデビューまでは平均4年かかる。周りの新人もライバルであるため、孤独な世界でのモチベーション維持は難しい。旧友が集まれる場があると励みになるのではないか。

基準6 教育環境

点検項目【6-22】施設・設備等

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

□ロッカー室の通路が狭い。

学校からの回答 >全部で240台のロッカーを設置している。学生数に対して不足しているがスペースの問題で増設できず、現在あるロッカー室もスペースを工夫して使ってもらっている。今まで個数が足りないとの意見は多くあったが、通路が狭いとの指摘は初めてだったので参考にさせていただく。

点検項目【6-23】学外実習・インターンシップ等

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

□インターンシップを実施したいと思っているが、企業の機密情報を考慮すると実のある仕事を経験させられないため学生に機会を提供できずにいる。また、守秘義務の問題もある。

□大企業はコンプライアンス問題などがあり難しい。アトリエ系で経験を積んできたクリエイターは面白い。当社の新卒採用は大卒・大学院卒を対象としているが、採用枠の半数は中途採用であり、様々な経験をしている中途採用の方が将来良いクリエイターとして成長していることが多い。

□インターンシップは希望する学生と受入れる側の企業のニーズが不一致なことが多いように感じられる。例えば、学生は学校からの指導で重い腰を上げていき、企業は学生には任せられないと感じている。アルバイトとインターンシップの中間で職場経験を積むことができれば良いのではないか。

□希望した企業でないこともあるが、他の業界・会社の話を知ることが良い経験になるので学生は前向きに考えてほしい。

学校からの回答 > インターンシップは社会人としてのマナーやコミュニケーションを体験できる貴重な機会であることを伝えている。希望する学生には著作権や守秘義務、マナーなどについて事前に厳しく指導して送り出している。

点検項目【6-24】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-25】学生募集活動

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

□高校進学時から普通科への関心はなかった。ゲームが好きだが高校ではゲーム専攻がないためインテリア専攻の高校へ通った。高校卒業後はやはりゲームの仕事に繋がると考えて、複数の学校を見学して親しみやすい雰囲気のある本校に決めた。

□高校で美術に興味を持ち美術部に入部した。親は卒業したら就職するものと思っていたが、好きなマンガを学びたいとの本人の強い意志があり、就職したら学費を返すことを約束して進学を決めた。複数の学校を見学していたようだ。

□高校が進学校だったため専門学校という選択肢はなく、手先を使った制作が好きなことから建築模型に興味を持ち大学の建築科に進学した。学んでいく中で建築は設計した後の造り手側に関われないことを知り違和感を覚えたようだ。熟考を重ねアクセサリなど自分で何かを作り出したい気持ちが強くなり、本校を見つけて入学した。

□親子で2～3校見学した。お互いに本校の雰囲気が子供に合っていると感じていた。本校へは子供だけで何度も見学に来ていたようだ。

□初めのうちは子供だけで見学へ行き親は報告を聞いていたが、実際に足を運ばないと分からないと思い本校は親子で見学した。体験実習の待ち時間にスタッフから保護者への様々な配慮があり、とても好印象だった。

□パンフレットに二級建築士の受験資格を取得できることが記載されていたので安心した。

学校からの回答 > お子様たちが進学する学校を知ってもらえるよう、今後も常に工夫していきたい。

点検項目【7-26】入学選考

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【7-27】学納金

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

通っていた理系大学の学費が高かったので、本校の学費を高いとは感じなかった。また、ファッションアクセサリ科は類似する学校が少ないため比較はしていない。

特に高いとは感じなかった。日本学生支援機構の奨学金と本人のアルバイト代を学費に充てている。アルバイト後の深夜に課題制作に取り組んでいるため毎日大変そうにしているが、遅刻せずに頑張っている。学費を自分で支払うことで意識が高まり良い経験になっていると思う。

デザイン系の専門学校の学費を調べたところ、大学とあまり変わらなかったので大学に通わせてもよいと思った。学費も学校の雰囲気と同様に学校選びの重要なポイントになる。本校の学費は他校に比べて比較的安かった。

基準8 財務

点検項目【8-28】財務基盤

点検項目【8-29】予算・収支計画

点検項目【8-30】監査

点検項目【8-31】財務情報の公開

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準9 法令等の遵守

点検項目【9-32】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-33】個人情報保護

点検項目【9-34】学校評価

点検項目【9-35】教育情報の公開

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準 10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-36】社会貢献・地域貢献・国際交流

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑

原宿表参道樺会では学生に協力してもらっており、これからも継続してお願いしたい。渋谷区とのコラボもあるようなので、引き続き連携をとり地域貢献していけると良いと思う。

以前勤務していた大学は地域に密着していた。学生は自分の作品を地元の店に置いてもらい安価で販売していた。また、市民が大学に「マニュアルをマンガ化して見やすくしてほしい」と直接依頼してくるなど生活を通して学生と市民が結びついていた。身近で気軽な付き合いがあるとより活性化されていくのではないか。

点検項目【10-37】ボランティア活動

この項目は、ご意見がありませんでした。



学校法人原宿学園

東京デザイン専門学校

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-62-8

学校関係者評価報告書についてのお問合せ先

総合企画部 TEL 03-3475-0171